



# 希望に満ちて

## さいたま市立大門小学校

心豊かで たくましい  
大門小児童の育成  
< 夢と目標をもち、  
生き生きと活動する子ども >

備えあれば、

さいたま市立大門小学校  
校長 石川 聡

39日間の夏季休業日を終えて、本日から2学期が始まりました。猛暑が続いた中で、子どもたちは思った通りの夏休みがなかなか過ごせなかったかもしれません。この暑さがいつまで続くのか、登下校のことを考えるととても心配ですが、1学期末にメールでお知らせした熱中症対策については、2学期当初も続けていきたいと思えます。各ご家庭におかれましても以下のようなことを引き続きご協力いただければと思います。

・水筒の持参、通学帽子の着用

・ご家庭でお手持ちの熱中症対策用品（日傘等）の登下校での使用

冷凍が必要な保冷用品は、PTA所有の冷凍庫を活用させていただき、たいへん助かっております。厚く御礼申し上げます。

さて、自分は海のない埼玉県で育ったせいか、車窓から海が見えると、とてもテンションが上がります。8月中旬に千葉県の銚子市を訪れる機会があり、もちろん、海は見られたのですが、それ以上に

国指定天然記念物「いぬぼうさき はくあきせんかいたいせきぶつ犬吠埼の白亜紀浅海堆積物」を見ることができ、とても勉強になりました。



犬吠埼の白亜紀浅海堆積物（いぬぼうさきはくあきせんかいたいせきぶつ）

- ・種別：国指定天然記念物
- ・指定日：平成14年3月19日
- ・概要：房総半島の地表面の大部分は約6,500万年前より新しい第三紀という、新しく柔らかい地層できているが、銚子には古く堅い地層が露出している。銚子半島の先端にある犬吠埼灯台下の海岸には、白亜紀に海底で堆積した地層が顔を出している。これが、国指定天然記念物「犬吠埼の白亜紀浅海堆積物」である。白亜紀という恐竜が生きていた時代で、白亜紀の地層は関東から西に分布するが、そのような古い地層を地表で見ることができる場所は、関東地方ではここだけである。

犬吠埼の白亜紀浅海堆積物は、浅い海の海底で作られた堆積物である。浅海特有の堆積構造として、海底の砂の表面につけられたさざ波の痕跡が観察できる。この波の痕跡は、波長4~7cm、波高3~6mmで、ほぼ平行に規則正しく並んでおり、このような痕跡を漣痕（れんこん）と呼ぶ。

指定地域とその周辺には、銚子層群犬吠砂岩層が分布しており、砂岩と頁岩の互層をなしている。漣痕はその砂岩層の表面に観察できる。これは、砂の表面にできたさざ波の跡の上に、頁岩層の元になる泥が静かに堆積したまま地層中に保存されたものである。この地層は化石も豊富で、付近ではアンモナイトの化石が発見されたこともある。

指定地域は地表で白亜紀の地層と漣痕が観察できる、全国的にも数少ない貴重な場所である。

（引用：千葉県教育委員会HP：<https://www.pref.chiba.lg.jp/kyouiku/bunkazai/bunkazai/n431-062.html>）

銚子は漁港としてのイメージが自分は強く、犬吠埼に灯台があることは知っていましたが、このような立派な地層が見られると思っていませんでした。改めて地球の雄大さの前では人の社会活動など微々たるものであることを実感しました。

今夏に南海トラフ地震臨時情報（巨大地震注意）が初めて出された訳ですが、地球の地殻変動の前に人は成す術もないかもしれません。しかしながら、それは対応を怠っていいという訳ではありません。人間が今まで培った様々な知識等をもって、対策を行っていくことは決して無駄ではないでしょう。

9月1日は防災の日。シェイクアウト訓練という新しい地震防災訓練を本校でも取り入れて訓練します。いざという時のために、皆様方もご家庭で防災について話し合ってみてはいかがでしょうか。

どうぞ2学期もよろしくお願いいたします。